

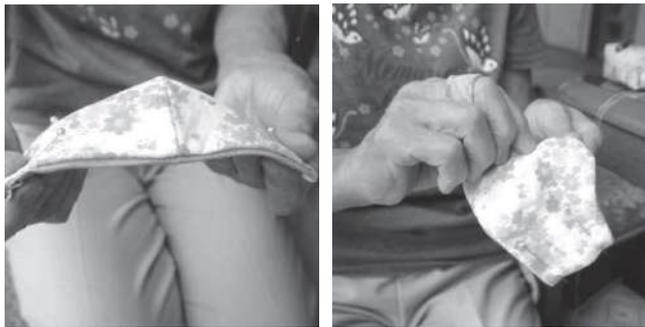
# おおあさひ支部報

## 手作り立体マスク配布 女性部「温かい心」をプレゼント

新型コロナウイルスの感染予防と安全優先のため、令和2年2月から、大旭支部でも、さまざまな活動を自粛・中止しています。「ふれあいサロンなごみ」も中止になっています。しかし感染状況も落ち着きを見せ始めた3月末、なごみ再開を心待ちにしている、地域の皆さんに対して、不足しているマスク配布のこと、「もうひと頑張りです。一緒に頑張りましょう」というメッセージ発信のことが、スタッフで話題になりました。

そこで、女性部有志が集まり、手作り「立体マスク」配布の相談をしました。密閉・密集・密接の「3密」を避けるため、旭崎新農村集落センターの外ベンチで打ち合わせを行ったそうです。

◇打ち合わせたこと  
①配布するもの  
・メッセージ



家庭でも材料を使って手づくり立体マスクができました

- ・手作り「立体マスク」
- ・各家庭でつくる材料と作り方の説明書
- ②材料の調達  
会員同士の持ち寄り、バザーの品を利用。
- ③構造  
ガーゼを内布、綿布を使用  
立体構造、二重構造
- ④数量  
総数約400枚

- ⑤配布先  
配食利用者、なごみ参加・協力者、なごみ送迎車運転手、うぐいすの杜、学校安全ボランティアなど
- ⑥配布方法  
感染予防のため、できるだけ自宅ポストへ
- ◎スタッフの皆さんの声  
・外出自粛中でしたが、室内で楽しくマスクづくりができました。
- ・材料（手ぬぐい、ガーゼ、糸、ゴムひもなど）を集めるのに苦慮しました。ゴムひもは県外の知人に依頼。はがきや電話で、お礼の連絡をいただきました。ありがとうございました。
- ・立体マスクができなかったら、なごみ開始の時に持ってきてください。完成品と交換します。
- ◎使用者の皆さんの声  
・人との交流が絶えている時、心がけていてくれたことがとてもうれしい。
- ・なごみでの再会を心待ちしています。
- ・マスクを手に入れるのが難

しかつたので助かります。  
・学校安全ボランティアで大切に使います。

◎まとめ  
女性部の「手づくりマスク」は、不足しているマスクを届けてくれただけではなく、『温かい心』を届けてくれました。感染への不安から抜け出し、一日も早く「なごみ」が再開できる日を心待ちしています。

（この記事内容は、6月末に取材しました）



ふれあいサロン・なごみ参加者

交通安全ボランティア

新役員新たな門出

令和2年度支部代議員会

今年度の支部代議員会は、コロナ禍の影響で開催が困難となり、かわって役員会を開催し、令和元年度事業報告・収支決算報告と令和2年度事業計画・収支予算を原案通りに決定しました。

役員改選では、支部長に大垣茂氏・副支部長に後藤政見氏、高間香氏、渡辺米子氏が、選出されました。

大旭支部長を拝命しました



新支部長  
大垣 茂

今回、大旭支部長に選出されました、大垣でございます。

社協活動に貢献した経験もないところへの推挙については戸惑いもありましたが、新たに副支部長になられました後藤政見氏、高間香氏、引き続き役員を引き受けられた皆様と協力しあいながら、活動を推進していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス騒ぎの中でのあわただしいスタートとなりましたが、支部発展にご尽力いただきました小野武さん 川澄真二郎さん 刈谷博道さんに感謝申し上げます。ともに、引き続きご指導ご協力賜るよう

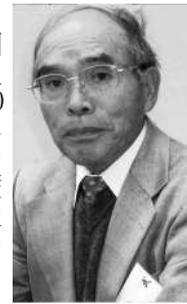
令和2年度笠間市社協大旭支部 役員名簿

支	役 職	氏 名
部	支 部 長	大垣 茂
	副 支 部 長	後藤 政見 高間 香 渡辺 米子
	会 計	納 米次
	監 事	小野 武 井川小夜子
役	支部委員代表	荻津 定幸 (矢野下藤株) 藤川 重雄 (大沢上2) 野沢 直一 (大沢下2) 檜山 隆雄 (八幡台1) 永原 勝美 (旭平1) 青木 清 (旭台団地4)
	部門委員代表	後藤 政見 菊池美智子 高間 香 鈴木 勝義 菊池 三男 青木 清 渡辺 米子 伊藤由美子 吉田 正次 岩田 幸雄
員	支部委員 (区長)	荻津 定幸 (矢野下藤株) 米川 薫 (矢野下下郷) 谷島 由尚 (大沢上1) 藤川 重雄 (大沢上2) 成田高太郎 (大沢上3) 塙 和美 (大沢下1) 野沢 直一 (大沢下2) 檜山 隆雄 (八幡台1) 花山 宗一 (八幡台2) 高橋 雅和 (原団地) 内田 洋一 (清住町) 加藤 勝男 (若狭山団地) 大和田 貢 (旭台) 根本 榮一 (旭台団地1) 芳賀文十郎 (旭台団地2) 佐藤 正宏 (旭台団地3) 青木 清 (旭台団地4) 永原 勝美 (旭平1) 斎藤 清 (旭平2) 高橋 濟 (旭平団地) 藤井 利治 (緑ヶ丘団地) 深谷 雅夫 (旭崎1) 友部 正美 (旭崎2) 嘉藤 豊 (サンステージ) 清野 国男 (矢野下本郷)
部 門 委 員	総 務	◎後藤 政見 ○菊池美智子 小野 武 永原 勝美 辻 睦美 野沢 直一 納 米次 荻津 定幸
	高齢・身障	◎高間 香 ○鈴木 勝義 田中 敬一 加藤 勝男 斎藤 清 塙 和美 谷島 由尚 米川 薫
	児童・環境	◎菊池 三男 ○青木 清 高橋 濟 大垣 茂 相澤 博美 成田高太郎 花山 宗一 大和田 貢
	女 性 部 (にじの会)	◎渡辺 米子 ○伊藤由美子 井川小夜子 大澤わか子 園部 弘子
	広 報	◎吉田 正次 ○岩田 幸雄 寺門 常康 大垣 茂

(部門委員の標記は、◎委員長・○副委員長を示す)

お願い申し上げます、新任のご挨拶といたします。

更なるご発展を祈る



前支部長  
小野 武

創立40年の歴史のある大旭支部長を前任者の菅原毅氏の後任として、平成29年4月に就任以来3年間、役員の皆様をはじめ会員各位のご支援・ご協力をいただきながら職責を果たすことができました。心から感謝申し上げます。

支部長就任以来、事業の推進にあたりましては、これまでの実績を踏まえ、支部の地域特性を生かした福祉活動を展開してまいりました。特に意を尽くした事業として

は、友部第二小学校と一体となつて取り組みました①三世代ふれあい事業②学校安全ボランティア事業、そして新たに平成30年4月、女性部の協力により立ち上げました③高齢者の居場所づくり事業「ふれあいサロンなごみ」等々、それぞれの事業に参加された方々の生き生きとした笑顔が今も心に残っております。これからは、大垣茂支部長を中心にますますのご発展を心からご祈念申し上げますとともに、一日も早いコロナウィルスの終息を願って、退任のあいさつといたします。

令和元年度 決算報告

自：平成31年4月 1日  
至：令和 2年3月31日 単位：円

収入の部

項目	予算額	決算額	予算比	付記
繰越金	587,652	587,652	0	
会員会費還元金	1,000,000	969,000	△ 31,000	社会福祉協議会
福祉コミュニティ	50,000	50,000	0	社会福祉協議会
広報助成金	100,000	96,900	△ 3,100	社会福祉協議会
寄付金	5,000	0	△ 5,000	
雑収入	5,000	5,007	7	グラウンドゴルフ祝い金・利息
合計	1,747,652	1,708,559	△ 39,093	

支出の部

単位：円

項目	予算額	決算額	予算比	付記
会議費	30,000	17,123	△ 12,877	総会・役員会経費
総務費	30,000	30,000	0	役員活動費
通信費	15,000	15,000	0	書類作成・諸事業の案内・連絡費等
消耗品費	10,000	1,717	△ 8,283	事務用品（コピー用紙・他）
事業費	1,000,000	644,021	△ 355,979	
(事業費内訳)				
児童育成費	150,000	73,279	△ 76,721	子供会助成 7団体：56,500 太陽・旭台・旭台団地 旭崎・旭平・青空・矢野下 育成会（昼食代）；16,779
高齢者クラブ助成	80,000	80,000	0	8団体：10,000円/団体 寿会・若狭山・ときわ会・三友会・新生会・ ふれあい・旭台・睦会・ひので会
グラウンドゴルフ大会	40,000	32,479	△ 7,521	参加費・賞品代：20,867 昼食代：11,612
にじの会活動費	130,000	56,692	△ 73,308	研修会費：56,692 総会費：0
地区ふれあい交流助成	130,000	65,000	△ 65,000	4地区開催 旭台団地・旭平2区・旭台区・旭崎1区
在宅福祉活動費	380,000	246,571	△ 133,429	配食サービス【40食/回】：206,558 80歳以上食事会：14,813 在宅介護者記念品：25,200
ふれあいサロン助成	40,000	40,000	0	ふれあいサロン助成：40,000
ふれあい交流会費	50,000	50,000	0	友二小三世代交流会
研修費	110,000	84,816	△ 25,184	いわき石炭化石館・白水阿弥陀堂
支部広報発行費	190,000	190,000	0	3回/年・他（諸経費）
負担金	4,000	12,950	8,950	保険料（児童登下校見守り）
予備費	358,652	0	△ 358,652	
合計	1,747,652	995,627	△ 752,025	

備考：新型コロナウイルス感染防止のため、3月予定の事業（食事会・配食サービス・サロン・女性部総会）を中止した。

令和元年度 収支残高は、下記のとおりです。

収入合計：1,708,559円  
支出合計：995,627円  
差引残高：712,932円は、次年度へ繰越する

### 通学路に笑顔もどる 下校見守り活動再開

当支部では平成18年度からボランティア（現在50人）の協力を得て、友部第二小学校児童の下校見守り活動を14年間継続して来しました。

しかし今年は、新型コロナウイルス感染症防止のため3月2日から臨時休校となり、見守り活動も3ヶ月間中断。その後6月8日に休校が解除され、活動も再開しました。

登校再開が「梅雨どき」とかさなり厳しい再スタートでしたが、通学路には児童の元気な笑顔が戻りました。

#### ◆児童との交流から

- ・おじちゃん、昨日は来なかったけど。風邪引いたの？
- ・WCに行きたい、頼んでー！
- ・いま何時？（塾が気になる）
- ・お母さんは？（家には鍵が）
- ・子どもたちから健康を貰えます。

・オレンジさんと呼ばれます。

交流の例は一部ですが、児童とボランティアさんとの間に強いきずなを感じました。



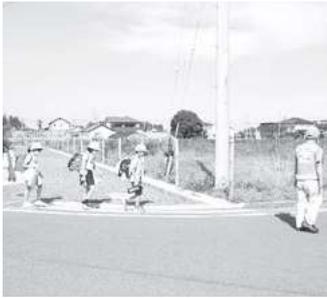
学校の近くで待機中です  
(いつもの、オレンジさん)



(一年生は、付き添います)



(歩道なく、付き添います)



(横断歩道なく、前後で確認)



(青になるまで、待つてネ)



(長い歩道は、付き添います)



(パパに、引き渡しました)



(車に、気を使います)



君羅新聞店前横断歩道  
(雨が止んで、良かったネ)



友部航空無線局脇カーブ  
(オジサン!いま何時?)



中田住宅付近歩道  
(横断する人、待つてネ!)



奥田歯科医院前横断歩道  
(雨の日は、気を使います)

◆事業の変更・中止について  
当支部ではコロナ禍による行動制限を受けて、次の通り計画の変更・中止をしています。

- ① 開催方法等を変更した事業
- ・ 代議員会の開催(P2参照)
- ・ 社協会員会費の募集

笠間市社協と大旭支部長連名の文書で、区長さんをお願いをしました。

- ・ 子ども会育成会代表者との懇談会↓助成金支給のみ。
- ② 再開された事業(再開日)
- ・ 下校時の見守り(6月8日)
- ・ 配食サービス (7月7日)

- ③ 検討中または中止の事業
- ・ ふれあいサロンなごみは、再開時期を検討中です。

・ 第二小学校三世代ふれあいのつどいは中止されました。

### あとがき

コロナ禍のなかで、高齢者へのマスクの配布は大変感謝を受けました。また、配食サービスと下校時の見守り再開は、ともに明るいニュースでした。

厳しい状況の続くなかですが、穏やかな日々が戻ることを関係者一同お祈りいたします。